

## 東洋大学において特別講義を行いました

# 「積算から広がる私たちの未来」



積算協会は、6月3日(金)の午後、「建築積算講座」認定校でもある東洋大学川越キャンパスにおいて、「積算から広がる私たちの未来」というテーマで特別講義を行いました。今回は、浦江真人教授のご好意により、90分2コマ(3時間)の授業枠をいただいたものです。

積算分野からスタートし積算技術を核として活躍のフィールドを広げてきた3名の講師による、さまざまな分野の体験と業務内容の紹介を行いました。講義に続きグループディスカッションを行い、自分の仕事とコストの関わりについて意見交換がなされました。

また、当協会の女子会「積女ASSAL」の活動についての紹介と、積算業務は女性に適した分野であるというメッセージも発信されました。

今回のテーマは、学生の皆さんが、積極的に自分の将来について考えるきっかけとなるよう企図したものです。



浦江真人教授

### 講義内容(敬称略)

#### 営業依頼から竣工迄の原価管理と積算の役割

当協会理事、積女ASSAL委員長  
三井住友建設(株) 前田伸子

ゼネコンにおいて、マンションの積算業務からスタートし、念願の現場所長を経て、全店の積算



と原価管理を統括する仕事をするまでの体験と、業務フロー図をもとにゼネコンの幅広い業務内容と積算の役割、積算が女性に向いている仕事である事を経験談として説明しました。また、積女ASSALについての紹介と今後の予定についても話しました。

#### 積算から広がるさまざまな可能性

当協会、積女ASSAL委員会委員  
(株)日本設計 飯田ルミ

ゼネコンの積算業務からスタートし、現場勤務を経験の後、子育てをしながら積算のさまざまな仕事を経験、第三子出産を契機に新しい分野にチャレンジし、設計事務所でコストマネジメントを担当するまでの多彩な体験、およびそこで得られたさまざまな知識や技術などについて話しまし





講義風景



グループディスカッション

た。また、具体的なプロジェクト事例により、コストマネジメントの実際を説明しました。

## 積算から広がる私たちの未来

当協会、副会長・専務理事 加納恒也

偶然の重なりからゼネコン積算部に配属となり、めまぐるしく担当業務が変化した新人時代から、管理職を経て工事から営業へと新しい領域に踏み込んでいったゼネコンでの体験を、全社的なコストマネジメントの事例とともに話しました。また、CM(コンストラクション・マネジメント)の世界に飛び出した体験を、CM業務の内容を交えながら説明しました。



## グループディスカッション

後半は、6名1チームでのブレインストーミングによるグループディスカッションを行いました。テーマは、「自分が目指す建築の仕事に、コストがどう関わっていくのか」です。社会に出てどのような仕事をするのか、将来どのような仕事をしたいか、自分の仕事にコストがどう関わっていくのか、といったことについて話し合い、各グループで話し合いの内容を発表しました。特に正解がないテーマですが、約50名の学生さんは一所懸命に考え話し合い、皆が納得した発表内容となりました。

積算であれ、設計や施工であれ、若者たちが「自身のコアとなる何らかの技術」をもって、自分の未来を切り拓いていくことを願い、授業を終了いたしました。

浦江先生、宇治先生、十河先生、大変お世話になりました。この場をお借りして、厚く御礼申し上げます。

(文責：加納)